

物価高
から

「やりくりはもう限界…」 くらし・営業を守る政治を

日本
共産党



相互通行から
一方通行へ

噂の「いざきロード」

生活
保護

憲法違反は是正を

生活保護基準引き下げは違法との初の最高裁判決に対し、「真摯に受け止める」(市長、康福祉部長)と日本共産党の質問に答弁。国は1日も早く利用者への謝罪と制度の是正、改定前基準との差額を遡及し、支給するべきです。

昨年の衆院選に続き、今年の参院選でも政府与党は大敗し、過半数割れに追い込まれました。しかしその後も、権力に固執し、国民生活よりも数合わせに奔走する国会。こんな政治では希望も未来も開けません。

日本共産党は国民と深く結びつき、消費税減税や福祉の拡充を求め、排外主義や極右の潮流に断固反対し、ジエンドー平等社会をめざし、引き続き力を尽くします。ご支援・ご協力をお願いいたします。



ムダ使いは許さない 2024年度決算



古民家再生

2億円



白みりん
ミュージアム・駐車場

7.7億円



24年度は、昨年度に続き、急激な物価高騰が直撃。政治の役割が問われました。しかし、国からの物価対策交付金は一般会計のたった3%弱。「国の取り組みは十分ではない」と批判する市長も、市独自の物価対策は雀の涙。市民一人当たり116円です。

日本共産党は、大きな赤字となっている入院給食への補助600万円を含め、新たな物価対策として1億円(市税収入の0.3%)の増額を提案し、実施するよう迫りました。

願いは実現できる!!

日本共産党は、市長の税金のムダ使いを告発。市民から批判が広がる「いざきロード」。担当課は「市民要望はない」とキッパリ答弁する一方、市長は6億2千万円も投入する計画です。

その他にも、古民家再生に2億円、「観光」に3年間で11億2千万円(白みりんミュージアムと駐車場の整備費7億7千万円を含む)。

ムダ使いを正せば、願いは実現できます。一緒に力を合わせましょう。

身近な要求実現



消えていた照明の修理
(美和1号公園)

いぬいえり



道路整備と安全対策
(東部中学校の通学道路)

高橋あきら



危険な歩道を改修
(江戸川台駅西口千葉銀行前)

植田和子



「管理不全空家」
規則策定を約束
小田桐たかし

